

様式（評価機構フォーマット版）

令和6年度
自己評価報告書
(専門学校等評価基準 Ver.4.0 準拠版)

令和7年7月1日

町田美容専門学校

目 次

教育目標と本年度の重点目標の評価.....	1	基準5 学生支援.....	21
基準1 教育理念・目的・育成人材像	2	5-16 就職等進路.....	22
1-1 理念・目的・育成人材像	3	5-17 中途退学への対応	23
基準2 学校運営.....	4	5-18 学生相談	24
2-2 運営方針.....	5	5-19 学生生活	25
2-3 事業計画.....	6	5-20 保護者との連携.....	26
2-4 運営組織.....	7	5-21 卒業生・社会人.....	27
2-5 人事・給与制度.....	8	基準6 教育環境.....	28
2-6 意思決定システム	9	6-22 施設・設備等	29
2-7 情報システム	10	6-23 学外実習、インターンシップ等	30
基準3 教育活動.....	11	6-24 防災・安全管理.....	31
3-8 目標の設定	12	基準7 学生の募集と受入れ.....	32
3-9 教育方法・評価等	13	7-25 学生募集活動は、適正に行われているか	33
3-10 成績評価・単位認定等	14	7-26 入学選考	34
3-11 資格・免許の取得の指導体制	15	7-27 学納金	35
3-12 教員・教員組織.....	16	基準8 財務.....	36
基準4 学修成果.....	17	8-28 財務基盤	37
4-13 就職率	18	8-29 予算・収支計画.....	38
4-14 資格・免許の取得率	19	8-30 監査.....	39
4-15 卒業生の社会的評価	20	8-31 財務情報の公開.....	40

基準 9 法令等の遵守..... 41

9-32 関係法令、設置基準等の遵守42

9-33 個人情報保護43

9-34 学校評価.....44

9-35 教育情報の公開.....45

基準 10 社会貢献・地域貢献..... 46

10-36 社会貢献・地域貢献47

10-37 ボランティア活動48

教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	令和6年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決策
【榎本学園の教育理念】 「常に社会の動向に適合した職業人を育成すること」 【本校の目的】 「社会人としての礼儀作法が身についた感性豊かな美容師の養成」	【重点目標 1】 ● 実践的な職業教育機関として、実社会との接点をカリキュラムや学生指導の中でさらに充実させていく。 【重点目標 2】 ● 社会人としての礼儀・マナーの基本教育をカリキュラムに導入する。	【重点目標 1】 ● 企業関係者との積極的な意見交換を実施し、就職に向けた実践的な授業を実施した。また、企業を経営している講師、卒業生社会人を招いての講義・講話等、実施した。 ● 就職ガイダンスを企画したり、模擬面接・模擬試験等のキャリア教育を行った。 【重点目標 2】 ● 礼儀・マナーの基本指導の徹底を教職員間で共有し、日々学生の生活指導に取り組んだ。 ● 新入生のオリエンテーションにおいて、挨拶の徹底を指導を行った。	【重点目標 1】 ● 学生に美容の楽しさや奥深さを感じ取らせるような授業の方法などを工夫する必要がある。 【重点目標 2】 ● 美容業界の枠に囚われず、社会人としての礼儀・マナーに加えて、「徳」を意識したカリキュラムを検討する。

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校の設置法人である榎本学園の教育理念は、「常に社会の動向に適合した職業人を育成すること」であり、本校も学則にてその目的を「社会人としての礼儀作法が身についた感性豊かな美容師の養成」と明確に定め、学生・教職員に周知徹底している。 少子化による学生数減少が見込まれ、今後、学生の獲得に向けた新たな対応が求められる中、教育理念・目標に再度立ち返り、他校との差別化を図りつつ、今後の将来構想を描いていくことが課題である。	【榎本学園（設置法人）ホームページより】 ・・・・・・「常に社会の動向に適合した職業人を育成すること」という教育理念を真摯に守り続け、有為な人材の育成、及び輩出する努力を地道に続けております。 教育理念に従い、先駆けて時代のニーズをいち早く掴み取り、息長く社会に必要とされ、かつ社会に貢献することができる分野の模索を続けてきた結果、現在におきましては、調理・福祉・美容・製菓の4分野、4校の専門学校と、1校の高等専修学校を擁する総合学園にまで成長することができました。（略） 現代社会においては、時代の変化するスピードは加速度的に伸びていると言われています。そのなかで、当学園では昔からある基本を大切にする一方、新しい情報や知識、技術の導入を積極的に行っております。古いものと新しいもののバランスの中にこそ、物事の本質があると考えているからです。（略）

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	理念・目的・育成人材像を明確に定め、教職員・学生等と共有する。	「常に社会の動向に適合した職業人を育成すること」を教育理念とし、学則にて「社会人としての礼儀作法が身についた感性豊かな美容師の養成」を目的と定めている。	教育理念の具体化と共有が課題であるが、日々の校務に取り組む中で、常に意識するよう職員会議等の場で指導する。	学則・学生便覧・ホームページ
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	美容業界のニーズに適合した人材を育成することを目標とする。	本校の人材育成像は、業界のニーズに適合していると認識している。		学則・学生便覧・ホームページ
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	理念の達成に向け、本校独自の教育活動を行うことを目標としている。	技能・技術だけでなく、社会人としての礼儀・マナー等を教えることに力点を置いている。	他校との差別化を図り、本校独自の特色を出し続けることが課題。本校の強み弱みを再度分析し、方策を模索する。	学則・学生便覧・ホームページ
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	社会のニーズを踏まえた学校の将来像を描く必要がある。	高齢化社会への対応として美容の仕事に福祉理論を推進している。	少子化による学生数減少が見込まれる中、今後の将来構想を描くことが急務であり、教職員間で共有する必要がある。	学則・学生便覧・ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
榎本学園の教育理念は、実践的職業訓練機関として、常に社会の動向に適合した職業人を育成することであり、本校も社会人としての礼儀作法が身についた感性豊かな美容師の養成を目的としている。そのため、単に技能・技術だけでなく、社会人としての礼儀・マナー等を教えることに力点を置いている。他校との差別化を図り、今後の将来構想を描いていくことが課題。	

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

基準 2 学校運営

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
「社会人としての礼儀作法が身についた感性豊かな美容師の養成」という目的を果たすため、学校運営は、厚生労働省の認可を受けた美容師養成施設として、美容師養成施設指導要領及び各種関連する法令に基づいており、かつ事業計画も美容師養成施設指導要領及び各種関連に則っている。事業計画については、本校の独自色をいかに出すかが課題である。 設置法人の組織運営は、法令に則り適切に行われているが、組織体制の在り方については、各学校の管理業務の集中化等、再検討が必要。学校運営のための組織は、組織図・校務分掌にて定め、教職員で共有している。 各教職員の職務内容・経歴が大きく異なるため、画一的な昇格制度を構築することは難しい。個々の教職員の待遇については、個別にきめ細かく対応しているのが現状であるが、昇格については、何らかの客観的な指標を策定することも検討したい。 重要事項については、理事長のリーダーシップの下、各校校長、法人本部幹部が参画する委員会で決定し、そのうち予算等重要事項については理事会の承認を得ている。しかし、権限規定が整備されておらず、理事長・校長間の決裁権限が不明確であり、今後文書化が必要。 その他の事項については、教職員全員が参加する職員会議の他、校長以下、副校長、学年主任が参加する主任会議でボトムアップによる議論の上、意思決定している。 情報システム化については、費用対効果を測りながら、管理部門を中心に推進している。	学校法人榎本学園は調理・福祉（保育）・美容・製菓の4分野、4校の専門学校と、2校の高等専修学校を擁する総合学園であり、理事長のリーダーシップの下、各校は連携しながら学校運営を行なっている。その一環として、榎本学園の各校校長等が参画する定例の会議は、各校の運営上の課題等の共有化等に役立っている。 小規模組織であるため、ボトムアップによる意思決定を行いやすい。

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

2-2 運営方針

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	理念に沿った運営方針を定める。	「社会人としての礼儀作法が身についた感性豊かな美容師の養成」という目的を果たすため、厚生労働省の認可を受けた美容師養成施設として、学校運営は、美容師養成施設指導要領及び各種関連する法令に基づいている。	社会状況や時勢を考慮しつつ、今後の運営方針を検討・決定することが重要となる。	美容師養成施設指導要領 学則 ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
厚生労働省の認可を受けた美容師養成施設として、学校運営の骨格は美容師養成施設指導要領及び各種関連する法令に基づくものとなっている。	

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

2-3 事業計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	理念に沿った事業計画を定めている。	前年度の反省点、改善すべき点を踏まえ、毎年度事業計画を策定している。事業計画の骨格は養成施設指導要領及び各種関連する法令に基づく。	本校独自の計画策定が課題。	校務日程表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
前年度の反省点、改善すべき点を踏まえ、毎年度事業計画を策定している。事業計画の骨格は美容師養成施設指導要領及び各種関連する法令に基づく。本校独自の計画策定が課題である。	

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

2-4 運営組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	専修学校設置基準等各種関連法令に則り適切に運営する。	専修学校設置基準等各種関連法令に則り適切に運営している。	効率的な組織運営のために各学校で行っている管理業務を可能な限り一元化する。	専修学校設置基準 寄付行為
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	各部門の役割を明確にした組織体制を構築する。	組織図、校務分掌を定めている。		組織図 校務分掌

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
設置法人の組織運営は、法令に則り適切に行われている。組織体制の在り方については、可能な限り管理業務を一元化する等、スリム化していく。学校運営のための組織については、組織図・校務分掌にて定め、教職員で共有している。	

最終更新日付	令和 7 年 7 月 1 日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------------	-------	-------

2-5 人事・給与制度

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	学園全体で規程を定める。 法令を遵守する。	就業規程、給与規定を定めている。		就業規程、給与規定

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
設置法人である榎本学園で就業規程・給与規定を定めている。	

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

2-6 意思決定システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	意思決定システムを整備し、規程に定める。	重要事項については、理事長主導の下、各校校長等が参画する委員会にて決定。寄付行為に応じて理事会の承認を得ている。 日々の校務に関しては、各委員会、主任会、職員会議で議論し、ボトムアップで意思決定している。	各々の教職員が主体的に意見を発し、学校をより改善していく仕組み、風土を構築していくことが重要。 そのために、課題・問題意識を共有化すべく、コミュニケーションを図る。	組織図 職員会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
重要事項については、理事長のリーダーシップの下、各校校長、法人本部幹部が参画する委員会で決定し、そのうち予算等重要事項については理事会の承認を得ている。 日々の校務については、教職員全員が参加する職員会議の他、校長以下、副校長、教務・事務の主任が参加する主任会議、各委員会でボトムアップによる議論の上、意思決定している。	榎本学園の各校校長等が参画する会議を定期的に行うことは、各校の運営上の課題等の共有化等に役立っている。

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

2-7 情報システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-1 情報システム化 に取組み、業務の効率 化を図っているか	費用対効果を測りながら、 情報システム化を推進し、 業務効率化を図る。 学生・生徒との連絡手段や非 常時の学習手段として IT の活 用をする。	主として管理部門で情報シ ステム化を図っている。 また、校舎内に Wi-Fi を敷設 した。 学生生徒及び保護者連絡ツ ールとして Google クラスル ームを活用している。	管理部門のさらなる情報シ ステム化が課題。 Wi-Fi を活用し、授業等でも 反映していきたい。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
費用対効果を測りながら、情報システム化を推進し、業務効率化を図る。 個人情報を取り扱う業務については、個人情報保護に関する規程を整備した 上で、対応する必要がある。	校舎内に、Wi-Fi を敷設し、ネットワーク環境を整えた。

最終更新日付	令和 7 年 7 月 1 日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------------	-------	-------

基準 3 教育活動

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校は、厚生労働省の認可を受けた美容師養成施設であり、目的を社会人としての礼儀作法が身についた感性豊かな美容師の養成と定めている。 従って教育課程の編成は美容師養成施設指導要領に準じたものとなっている。加えて、実践的な職業教育機関として、学外実習等、実践的なカリキュラムやキャリア教育を重視することを方針としている。 実践的な職業教育機関として、就職企業関係者等と積極的に意見交換を実施し、平成 26 年度に「教育課程編成委員会」を設置した。今後も、委員との意見交換を重ね、カリキュラム編成に役立てていきたい。 キャリア教育は教育活動における最重要項目の一つと捉えており、就職ガイダンス、模擬試験・模擬面接に取り組んでいるが、より一層の充実を図るべく、今後も検討を重ねていく。 美容師免許に加え、他の資格を取得するための指導体制をとっている。美容師免許以外の資格については、法律の改正や業界のニーズを常に注視し、採用できるものがあれば、可能な限り、採用していく。 美容師養成施設として、適格な資格・要件を備えた教員を確保しているが、科目によっては教員確保が困難なこともあり、他校と連携しながら、確保に努めている。教員の質的向上への取組みとして美容師としての基礎技術訓練や教育センターの教員資格認定研修への参加、他教員による授業評価を行っている。	【目標資格】 【専門課程】 ① 美容師国家資格 ② 介護職員初任者研修修了資格 ③ ネイリスト技能検定 3 級 ④ ジェルネイル検定 初級 ⑤ パーソナルカラー検定 3 級 ⑥ パーソナルカラー検定 2 級 ⑦ ジャパニーズベーシック検定（マツゲエクステンション） ⑧ プロフェッショナルメイクアップアーティスト検定 【高等課程】 ① 美容師国家資格 ② ネイリスト技能検定 3 級 ③ ジェルネイル検定 初級 ④ パーソナルカラー検定 3 級 ⑤ パーソナルカラー検定 2 級 ⑥ ビューティビジネス実務検定 ⑧ プロフェッショナルメイクアップアーティスト検定

最終更新日付	令和 7 年 7 月 1 日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------------	-------	-------

3-8 目標の設定

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	理念、目指すべき学生像を定め、教育課程の編成・実施方針を定める。	美容師養成施設指導要領を遵守しつつ、学外実習等、実践的なカリキュラムの他、キャリア教育を重視する方針を定めている。	技術面の到達レベル追求に伴い、精神面でのサポートとケアの時間が必然的に多くなっている。	学則 美容師養成施設指導要領
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	目標とする教育到達レベルを明確に定める。	各修業年限に応じた教育到達レベルを定め、適正に運用している。	目標に到達しなかった学生の補講・補習を実施。今後も実施方法と内容の更なる見直しを検討。	学則 美容師養成施設指導要領

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
美容師養成施設であるため、教育課程編成は美容師養成施設指導要領に準じている。本校の目的である「社会人としての礼儀作法が身についた感性豊かな」美容師の養成を達成するため、学外実習等実践的なカリキュラムやキャリア教育を重視することを方針としている。	学生の意欲向上のためにネイル、メイク、パーソナルカラー、介護職員初任者研修等の資格取得を積極的に薦めている。

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

3-9 教育方法・評価等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	教育目的・目標に沿った教育課程を編成することを方針としている。	美容師養成施設指導要領を遵守しつつ、学外実習等、実践的なカリキュラムの他、キャリア教育を重視した教育課程を編成している。		学則 美容師養成施設指導要領
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	実践的な職業教育機関として、関連団体・企業等外部の意見を可能な限り教育課程に反映していく。	就職企業・卒業生と意見交換を実施。企業・関連団体と教育課程編成委員会を設置。	教育課程編成委員会の提言を早急に具象化するための検討会を実施する。	学則 美容師養成施設指導要領
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	実践的職業教育機関としてキャリア教育は最重要項目の一つと捉えている。	就職ガイダンスに加え、業界セミナー、企業説明会、学外実習、個別面談、模擬面接を行った。また、社労士や企業と連携し、労働・金融セミナーを開講した。	専門的能力、実践力を高める他、労働意欲・おもてなしの心を養う為、実習に目標を定める等、より一層の充実を図るべく、検討を重ねる。	学則 美容師養成施設指導要領 シラバス
3-9-4 授業評価を実施しているか	授業の改善のため授業内容を客観的に評価する仕組みは必要。	授業評価を実施した。	評価項目の数と内容に関しては今後改善の必要がある。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
実践的な職業教育機関として、就職企業関係者等と積極的に意見交換を実施した。 キャリア教育は実践的な職業教育機関として、最重要項目の一つと捉えており、就職ガイダンス、模擬試験・模擬面接に加え、より一層の充実を図るべく、今後も検討を重ねていく。	実践的な授業も増え、学生にはよい刺激となっている。授業内容と授業時間数は再検討の必要がある。

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

3-10 成績評価・単位認定等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	成績評価・修了設定基準を明確に定め、適切に運用する。	成績評価・修了設定基準を明確に定め、適切に運用している。	習熟度の低い学生に対しては、教員間で連携を密にし、個別に対応する。 自己分析表を作成し、各自で目標を自ら掲げ、その習熟度を計る。	学則 学生便覧
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	美容師の育成においては、技術・技能の成果把握は必須と考えている。	実習の試験で把握している。 また、技術コンクールを開催している。	自己の習熟度を理解させるために、実習の実技試験を設け、常に達成度合いを計れるようにする。	学生便覧 校務日程表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校の目的である「社会人としての礼儀作法が身についた感性豊かな」美容師の養成を達成するためには、成績評価や単位認定基準の明確化とその適切な運用や学生の技術・技能の把握は必須とらえており、実行している。習熟度の低い学生に対しては、教員間で連携を密にし、個別に対応する。	学生自身で目標を設定し、定期的にその習熟度が達成されているのかを確認することで、自己分析を行うとともにモチベーションの向上を図っている。各学期に学科・実習面において特に優れた成績を修めた学生を褒賞する制度がある。

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	美容師免許の取得を教育課程上で明確に位置づける。また、美容師免許のみならず、その他の資格についても学生に取得を促す。	免許取得に向け、体系的に編成されたカリキュラムと定期的な講習会による教員の力量向上に努めている。	美容師免許以外の資格については、法律の改正や業界のニーズを常に注視し、目標とすべき資格があれば可能な限り追加する。	学生便覧
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	美容師養成施設指導要領に準じ、適切な指導体制を構築する。	通常の授業以外に資格取得に向けた講義及び実習を開講し、指導・サポートに努めている。	学生の技術差や将来の目標にバラツキがあるため、選択授業による意欲と技術の向上が課題。	美容師養成施設指導要領 学生便覧 時間割

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
美容師養成施設指導要領に準じ、適切な指導体制を構築している。加えて、他の目標資格を取得するための指導体制もとっている。美容師免許以外の資格については、法律の改正や業界のニーズを常に注視し、目標とすべき資格があれば可能な限り追加する。	目標資格として、介護職員初任者研修修了資格、パーソナルカラー検定3級・2級、プロフェッショナルメイクアップアーティスト検定、ネイリスト技能検定3級、ジェルネイル検定初級、ジャパニーズベーシック（マツエク）を取得するための指導体制をとっている。

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

3-12 教員・教員組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	美容師養成施設として、適格な資格・要件を備えた教員を確保する。	美容師養成施設として、適格な資格・要件を備えた教員を確保している。	科目によっては教員確保が困難なこともあり、他校と連携しながら、確保に努めている。	美容師養成施設指導要領
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	実践的な職業教育機関として、教員の指導力・技能の向上に向けた取組みを行う。	美容師基礎技術訓練、日本教育センター教員資格認定研修への参加、他教員による授業評価の実施。	教員間での評価システムを継続していくことが重要。	美容師養成施設関係通知集 美容師養成施設指導要領
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	教育の質の向上に向けて、教員の組織体制を整備し、改善の余地があれば見直す。	教務課、就職課、学生課、を配置している。		組織図 校務分掌

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
美容師養成施設として、適格な資格・要件を備えた教員を確保しているが、科目によっては教員確保が困難なこともあり、確保に努めている。教員の質的向上への取組みとして美容師基礎技術訓練、日本教育センター教員資格認定研修へ実習教員が参加している他、他教員による授業評価を行っている。	必要な講習会を開設し、教員の質的向上に取り組んでいる。

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

基準 4 学修成果

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）												
実践的な職業教育機関として、就職率の向上を重要な目標と位置付けており、キャリア教育の一環として就職ガイダンス、卒業生による就職体験説明会等に加え、模擬試験・模擬面接等のキャリア教育に取り組む他、就職課とクラス担任が連携し、ホームルームや個別面談で就職相談に対応している。近年の学生の変化に対応するため、キャリア教育にさらに力点を置くべく、就職課の業務拡充と体制強化が課題となっている。 美容師免許の取得に際しては、美容師養成施設として、指導要領に準じ、適切な指導体制を構築している他、美容業界で求められる資格取得をサポートすべく、法令の改正や美容業界の最新動向をフォローしている。 卒業生の社会的評価については、カリキュラムの編成に役立てるべく、就職先企業から積極的にヒアリングを行っている。より体系だったフォローアップ体制構築のために卒業生のアンケート調査の実施を検討したい。 就職率の向上を図るべく、就職ガイダンス、卒業生による就職体験説明会等に加え、模擬試験・模擬面接を実施している。また、就職課とクラス担任が連携し、ホームルームや個別面談で就職相談に対応している。	就職率推移 【専門課程】 <table> <tr> <td>令和 4 年度</td> <td>93.8%</td> </tr> <tr> <td>令和 5 年度</td> <td>93.1%</td> </tr> <tr> <td>令和 6 年度</td> <td>96.4%</td> </tr> </table> 【高等課程】 <table> <tr> <td>令和 4 年度</td> <td>91.6%</td> </tr> <tr> <td>令和 5 年度</td> <td>95.4%</td> </tr> <tr> <td>令和 6 年度</td> <td>92.3%</td> </tr> </table> 就職率は極めて高く、就職希望者の就職率は 100%といえる。今後も就職先企業との連絡を密にとり、学生個々に相応しい就職が叶うよう指導に努めたい。	令和 4 年度	93.8%	令和 5 年度	93.1%	令和 6 年度	96.4%	令和 4 年度	91.6%	令和 5 年度	95.4%	令和 6 年度	92.3%
令和 4 年度	93.8%												
令和 5 年度	93.1%												
令和 6 年度	96.4%												
令和 4 年度	91.6%												
令和 5 年度	95.4%												
令和 6 年度	92.3%												

最終更新日付	令和 7 年 7 月 1 日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------------	-------	-------

4-13 就職率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	実践的な職業教育機関として、就職率の向上は重要な目標と位置付けている。	就職率の向上を図るべく、就職ガイダンス、卒業生による就職体験説明会等に加え、就職模擬試験・模擬面接を実施している。 就職課とクラス担任が連携し、ホームルームや個別面談で就職相談に対応している。	離職率も考慮しつつより一層のきめ細かな指導が必要。	各種ガイダンス説明資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）		
就職率の向上を図るべく、就職ガイダンス、卒業生による就職体験説明会等に加え、模擬試験・模擬面接を実施している。また、就職課とクラス担任が連携し、ホームルームや個別面談で就職相談に対応している。 就職課の業務拡充と体制強化が課題。	就職率推移		
		専門課程	高等課程
	令和 4 年度	93.8%	91.6%
	令和 5 年度	93.1%	95.4%
	令和 6 年度	96.4%	92.3%

最終更新日付	令和 7 年 7 月 1 日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------------	-------	-------

4-14 資格・免許の取得率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	国家試験に合格することは当然と考え、付加価値を付ける意味でも他の資格取得についてもサポートしたい。	通常の授業以外に資格取得に向けた講義及び実習を開講し、指導・サポートに努めている。	学生の技術差や将来の目標にバラツキがあるため、選択授業による意欲と技術の向上に努めている。	時間割 シラバス 学生便覧 学則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
美容師養成施設指導要領に準じ、適切な指導体制を構築している。加えて、美容業界で求められる資格取得をサポートし、法令の改正や美容業界の最新動向をフォローしている。	希望者に、本校姉妹校である町田福祉保育専門学校の教員による介護職員初任者研修を受講している。また、ネイリストを目指す学生のためにもネイリスト協会の認定校になりネイリスト検定及びジェルネイル検定の自校開催を行っている。その他、メイクやまつ毛エクステンションの資格試験も自校で行っている。

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

4-15 卒業生の社会的評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業生の社会的評価を把握するよう努める。	就職先企業関係者からのヒアリングにより、実態の把握に努めている。	卒業生のアンケート調査の実施等、体系だったフォローアップ体制の構築を検討する。同窓会を組織化し、活用することも検討。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
カリキュラムの編成に役立てるべく、卒業生の評価に関し、就職先企業から積極的にヒアリングを行っている。より体系だったフォローアップ体制の構築のために卒業生のアンケート調査の実施を検討したい。	町田という地域・場所柄もあり、小田急沿線企業への就職希望が多いため、都内より神奈川県下での評価高い。

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

基準 5 学生支援

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）												
学生相談・就職指導に関する体制は担任の1クラス2名制を採用し、学生一人一人と向き合うことを基本としている。 近年、学生指導においては、保護者との連携は不可欠のものとなっているため、学期ごとに保護者宛てに成績と出席状況を通知し、これに対する感想を提出してもらっている。また、必要に応じて保護者面談や三者面談も実施している。 就職指導に関しては、就職担当教員と担任が個別に面談や相談に応じている他、定期的にサロン勤務者や企業を招き、サロンマナーや就職説明会を実施している。 経済的問題を抱えている学生に対しては、学費の分納・延納を認めているが、事務負担の軽減が課題となっており、システム化等の対応を検討している。本校独自の学生寮については、財務的な負担も大きいため、慎重な検討を要するものと考えている。 意欲の高い学生が始業前に行う自主練習を実習教員がサポートする等、学生が自主的に行う課外活動をサポートしている。 卒業生の支援も重要な課題の一つであり、卒業生からの相談に応じて転職や資格取得への支援を行っているが、今後、SNSの活用等により、学校主導で同窓会組織を結成し、卒業生との繋がりを強めるとともに会員の相互扶助・キャリアアップをサポートしたい。 現時点では高校新卒の学生が中心であるが、社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備は重要な課題の一つと捉えており、種々の状況を踏まえ、対応を検討したい。	就職率推移 【専門課程】 <table> <tr> <td>令和 4年度</td> <td>93.8%</td> </tr> <tr> <td>令和 5年度</td> <td>93.1%</td> </tr> <tr> <td>令和 6年度</td> <td>96.4%</td> </tr> </table> 【高等課程】 <table> <tr> <td>令和 4年度</td> <td>91.6%</td> </tr> <tr> <td>令和 5年度</td> <td>95.4%</td> </tr> <tr> <td>令和 6年度</td> <td>92.3%</td> </tr> </table>	令和 4年度	93.8%	令和 5年度	93.1%	令和 6年度	96.4%	令和 4年度	91.6%	令和 5年度	95.4%	令和 6年度	92.3%
令和 4年度	93.8%												
令和 5年度	93.1%												
令和 6年度	96.4%												
令和 4年度	91.6%												
令和 5年度	95.4%												
令和 6年度	92.3%												

最終更新日付	令和 7 年 7 月 1 日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------------	-------	-------

5-16 就職等進路

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	実践的な職業教育機関として、担任・就職担当が連携して個々の学生に対し、手厚い進路指導を行う。	就職担当教員が中心となり、担任・副担任一丸となって個々の学生に対し、個別に進路指導に取り組んでいる。	学生の進路支援に活用することを検討する。	組織図 校務分掌

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職担当教員が中心となり、担任と一丸となって個々の学生に対し、個別に進路指導に取り組んでいる。SNS の活用等による同窓会組織の結成をサポートし、学生の進路支援に活用することを検討する。	職業実践専門課程への移行に伴い、「一生美容に恋する会」との連携を深めたことが就職支援の一助となっている。

最終更新日付	令和 7 年 7 月 1 日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------------	-------	-------

5-17 中途退学への対応

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	退学率の低減を重点目標の一つと定めている。	出席率の低い学生に対しては原因を把握し、解決方法を見出すべく、担任が中心となって保護者と連携し対応している。	問題のある学生に対しては個別に手厚く対応することが基本であるが、近年増加している目的意識の薄い学生に対応すべく、カリキュラムの一部見直しも検討する。	学籍簿 学生基本調査 出席簿

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）			
退学率の低減を重点目標の一つと定めており、出席率の低い学生に対しては原因を把握し、解決方法を見出すべく、担任が中心となって保護者と連携し、対応している。問題のある学生に対しては個別に手厚く対応することが基本であるが、近年増加している目的意識の薄い学生に対応すべく、カリキュラムの一部見直しも検討する。	退学率推移			
			専門課程	高等課程
	令和	4 年度	11.1%	7.4%
	令和	5 年度	13.6%	6.2%
	令和	6 年度	9.3%	10.9%

最終更新日付	令和 7 年 7 月 1 日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------------	-------	-------

5-18 学生相談

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	学生相談については、個別の事情に応じて、きめ細かい対応をすべく、体制を整える。	学生カウンセラーを置き、学生の悩みに応える体制をとっている。また、クラス担任が中心となり、学生に応じ各課の担当が加わって対応しながら、保護者との連携を図っている。	多様化する学生に対応するため、教員間で情報の共有化を図り、解決策を見出していく。	組織図 校務分掌
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	現時点では、海外からの留学生を募集しておらず、必要に応じて今後検討する。	現時点では、組織的な体制は整っていない。	外国語を話す人材の確保が必須である。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生カウンセラーを置き、学生の悩みに応える体制をとっている。また、クラス担任が中心となり、学生に応じ各課の担当が加わって対応しながら、保護者との連携を図っている。 多様化する学生に対応がするため、教員間で情報の共有化を図り、解決策を見出していく。	

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

5-19 学生生活

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	経済的側面に対しては、可能な限り支援する。	経済的問題を抱えている学生に対しては、分納・延納の相談に個別に応じている。 入学前に奨学金制度や国の就学支援制度等の内容説明を強化している。	延納者・分納者に対する個別の対応による事務負担の軽減が課題となっている。	入学要項 学生便覧
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	学校保健法に則り、適切に対応する。	定期健康診断を実施している。		学生便覧
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	本校独自の学生寮については、今後の検討課題であるが、生活環境を支援する体制を構築する。	民間学生寮を紹介する。	学園全体での学生寮の設置は検討課題の一つ。	入学要項
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	学生が自主的に行う課外活動に対しては、支援していく。	意欲の高い学生が始業前に行う実技の自主練習を実習教員がサポートしている他、学生の自主的な活動については、可能な限り、支援を行うこととしている。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
経済的問題を抱えている学生に対しては、分納・延納を認めているが、事務負担の軽減が課題となっており、システム化等の対応を検討している。 本校独自の学生寮については、学校側にとってコスト負担も大きいいため、慎重な検討を要するものと考えている。 自主練習のために始業前及び放課後に実習室を学生に開放し、実習教員がサポートする等して、課外活動を支援している。	経済的に問題を抱えている学生にとっては、国の就学支援制度や学生支援機構の給付金の申請等、学費負担軽減のための相談にのっている。

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

5-20 保護者との連携

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	学生指導のために、保護者との綿密な連携を目指す。	各学科の出席率を教務部が把握し、学生にも必要に応じて伝えと共に、保護者にも連絡する。また、授業見学会等を行うことで保護者により学校の取組みをご理解いただく他、期毎に成績表を保護者も渡す等、保護者と連携を図っている。 保護者への連絡ツールとしてメールを採用している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
近年、学生指導のために保護者との連携は不可欠なものとなっており、出席率の悪い学生について保護者と連携し、問題の解決を図る他、遠方の学生については成績表を送付する等、クラス担任が中心となって保護者との連携に取り組んでいる。学校に無関心な保護者も少なからずいるため、今後は保護者会の実施も検討したい。	年間1～2回実施している授業見学会とサロン実習をより、保護者の来校する機会を増やすことを検討中。

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

5-21 卒業生・社会人

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	卒業生の支援も重要な課題の一つである。	卒業生からの相談に応じて就職斡旋等に取り組んでいる。	SNS の活用等により、学校主導で同窓会組織を結成し、卒業生との繋がりを強めるとともに会員の相互扶助・キャリアアップをサポートしたい。	
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	卒業生からの求めに応じて資格取得などについては、積極的にサポートする。	卒業後の資格取得等について個別に支援している。	同上	
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	現時点では高校新卒の学生が中心であるが、少子化の影響を踏まえ、社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備は重要な課題の一つである。	大学・短期大学・専修学校において履修した科目のうち、一部の履修を免除する等単位互換認定制度を導入している。	「学び直し」支援制度の告知、広報活動の拡充。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生の支援も重要な課題の一つであり、卒業生からの相談に応じて就職斡旋や資格取得への支援を行っているが、今後、SNS の活用等により、学校主導で同窓会組織を結成し、卒業生との繋がりを強めるとともに会員の相互扶助・キャリアアップをサポートしたい。 現時点では高校新卒の学生が中心であるが、少子化の影響を踏まえ、社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備は重要な課題の一つと捉えており、種々の状況を踏まえ、対応を検討したい。	単位互換制度があり、学校長認定のもと、最大 240 時間が免除される。

最終更新日付

令和 7 年 7 月 1 日

記載責任者

中溝 京子

基準 6 教育環境

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
美容師養成施設としての法定基準のみならず、美容業界の動向を踏まえ、教育上必要と思われる設備については、積極的に整備している。 実践的な職業訓練施設として、学外実習や海外研修は必須と捉えている。就職先企業等への学外実習は、実践的な教育の機会を提供すると同時に、学生が進路を検討する上での一助となっている 教育環境向上に向け、教育課程編成委員会からの提言とともに、授業評価の結果を活かすよう心掛けている。	サロン実習用に美容室を模した実習室を新築し、健康・体力維持を目的に体育館を備えている。 SNS を使った授業を展開し、Wifi 環境を整えた。 海外実習に現地の実習授業を取り入れており、実践的な教育の機会となっているとともに、学生の学習意欲向上に寄与している。

最終更新日付	令和 7 年 7 月 1 日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------------	-------	-------

6-22 施設・設備等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	美容師養成施設としての法定基準のみならず、美容業界の動向を踏まえ、教育上必要な設備を整備する。	法定基準を満たす設備の他、サロン実習用に美容サロンを模した実習室を整備している。	ネットワーク設備の増設を検討中。	美容師法施行規則 美容師養成施設指導要領

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
美容師養成施設としての法定基準のみならず、美容業界の動向を踏まえ、各教室に大型のモニターを配し、教育上必要と思われる設備については積極的に整備している。	サロン実習用に美容室を模した実習室や、健康・体力維持を目的に体育館を備えている。 教室に Wifi 環境を整え、SNS を使った授業を展開している。

最終更新日付	令和 7 年 7 月 1 日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------------	-------	-------

6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	実践的な職業訓練施設として、学外実習は必須である。	就職先企業等への学外実習は、実践的な教育の機会を提供すると同時に、学生が進路を検討する上での一助となっている。 海外研修では、現地でのサロン見学や外国人によるサロン実習等、美容の今を感じる研修を行っている。	学外実習の時期や期間を企業側と検討中。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
実践的な職業訓練施設として、学外実習は必須と捉えている。就職先企業等への学外実習は、実践的な教育の機会を提供すると同時に、学生が進路を検討する上での一助となっている。	海外研修では、日本では体験できない貴重な実習を行っており、学生のモチベーションアップに大きく寄与していると認識している。

最終更新日付

令和7年7月1日

記載責任者

中溝 京子

6-24 防災・安全管理

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用する。	消防署の指導により、防火管理者を中心として、年に一度避難訓練を実施している。		防火マニュアル
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	安全管理体制を整備し、適切に運用する。	学生に対しては、声掛けや調理器具の安全使用の徹底を指導し、実習中の事故防止に努めている。		学生便覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
消防署の指導により、防火管理者を中心として、年に一度避難訓練を実施している。 教室及び実習室においては、学生に対し声掛けや美容器具等の安全使用の徹底を指導し、事故防止に努めている。	

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

基準 7 学生の募集と受入れ

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生募集活動については、専修学校協会の定めたルールを遵守することに加え、学生とのミスマッチを避けるためにも、本校のありのままの姿をわかりやすく、丁寧に説明することが重要と考えている。そのため、教員説明会、高等学校での進路説明会等を通じて、接続する教育機関に対して、積極的に情報提供に取り組んでいる。 入学選考は所定の基準に則り、募集要項に公募推薦の出願基準を明記する等適正かつ公正に行っている。また、専門課程については、AO 入試についてもエントリー基準を明記し、志望する学生・保護者に対し、内容を事前に説明する機会を設けている。個々の学生の成績のばらつきが大きいため、入学選考に関する実績を直接授業改善に活用することは難しいが、必要に応じて教員間で共有し、学生への個別対応に活かしている。	姉妹校と一体となって広報活動に取り組んでいる。

最終更新日付	令和 7 年 7 月 1 日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------------	-------	-------

7-25 学生募集活動は、適正に行われているか

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	本校への理解を深めてもらうため、高等学校等、接続する教育機関への情報提供を積極的に取り組む。	高等学校での進路説明会等を通じて、情報提供に取り組んでいる。		ホームページ 入学案内書 募集要領 外部進学情報サイト
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	専修学校協会の定めたルールを遵守しつつ、当校のありのままの姿を見せることが重要と考える。	進路説明会、模擬授業、体験入学、保護者説明会等を実施している。費用対効果を常に検証しつつ、媒体の選定に取り組む。		ホームページ 入学案内書 募集要領

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生募集活動については、専修学校協会の定めたルールを遵守した上で、本校のありのままの姿を見せることが重要と考えている。また、高等学校での進路説明会等を通じて、接続する教育機関に対しては、積極的に情報提供に取り組んでいる。	姉妹校と一体となって広報活動に取り組んでいる。

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

7-26 入学選考

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	入学選考基準を明確化し、適切に運用する。	入学選考は所定の基準に則り、適正かつ公正に行っている。		募集要項
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	入学選考に関する実績を可能な限り、授業改善等に活用する。	個々の生徒の成績のばらつきが大きいため、入学選考に関する実績を直接授業改善に活用することは難しいが、必要に応じて教員間で共有し、学生の個別対応に活かしている。		入学願書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考は所定の基準に則り、適正かつ公正に行っている。個々の生徒の成績のばらつきが大きいため、入学選考に関する実績を直接授業改善に活用することは難しいが、必要に応じて教員間で共有し、学生の個別対応に活かしている。	

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

7-27 学納金

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	他の美容師養成施設の学納金を参考にしつつ、経費内容に応じた学納金を算定する。	東京都の美容師養成施設としては、平均的な水準の学納金となっている。	保護者・学生の負担を軽減するためにも、個別に分納制度等を設けている。	日本理容美容教育センター 東京地区協議会学納金調査結果
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか	監督官庁の指導に従い、適正な取扱いを行う。	3月31日までに辞退の申し出があった場合は、入学金を除き、返還に応じる旨、入学要項に記載している。	個別に丁寧に対応する。	入学要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教材費の値上がりによるコスト増のため、引き続き、管理経費を中心とするその他経費を抑制する努力はしていく。	修学支援制度の対象校

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

基準 8 財務

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
外部負債に頼ることなく運営できており、現時点で、財務基盤は強固なものと言えるが、学生数の減少により、学園全体での事業活動収支は赤字になっているため、管理経費を中心としたコスト削減をさらに追及していく。 中長期の計画については、策定の時期・手順・方法などが定まっておらず、定期的を実施する体制が整っていないのが現状であるが、少子化により学生数の減少が見込まれる中、今後の学校運営には、施設・設備の更新計画や管理経費を中心とした支出計画をより精緻にかつ中長期のビジョンをもって策定する必要がある。 監査については、法人顧問の公認会計士が、定められた年間スケジュールに則り適切に行っている。	今日の強固な財務基盤は、設立以来、理事長の強力なリーダーシップのもと、堅実な運営を行っている結果である。会計処理については、公認会計士の指導に基づき、適正に行っている他、日々の細かい経理業務については、別途顧問税理士から指導を受けている。

最終更新日付	令和 7 年 7 月 1 日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------------	-------	-------

8-28 財務基盤

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	中長期的な財務基盤の安定を維持する。	外部負債に頼ることなく、運営できている。 学生数の減少により、学園全体での事業活動収支は赤字に転落。	募集活動の強化に加え、さらなるコスト削減に取り組む必要がある。	貸借対照表 資金収支計算書 事業活動収支計算書 固定資産明細表 基本金明細表
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	財務分析を行い、財務上の問題点の把握に努める。	決算業務終了後、法人顧問の公認会計士が財務分析を行っている。		貸借対照表 資金収支計算書 事業活動収支計算書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
設立以来の堅実運営の結果、借入金もなく、財務基盤は強固なものと言えるが、今後、本校も少子化の影響を免れないため、損益分岐点を下げるべく、管理経費を中心としてさらなるコスト削減に取り組む必要がある。	

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

8-29 予算・収支計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	教育目標との整合性のとれた単年度予算・中期計画を策定する。	理事会等の機関決定を経ているものは単年度予算のみ。		資金収支予算書 事業活動収支予算書
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	予算及び計画に基づいた適正な執行管理を行う。	予算に基づいて適正に執行している。	常にゼロベースでコスト削減に取り組む	資金収支計算書 事業活動収支計算書 資金収支予算書 事業活動収支予算書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
年度予算については、過大な収入を見積もることなく、概ね適正であると考えている。より精緻な中長期計画の策定体制を整えることも課題。	設立以来、堅実な学校運営を行っているが、今後は少子化の影響により、学生・生徒数の減少も見据え、常にコスト削減に取り組んでいく必要がある。

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

8-30 監査

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	各種法令・寄付行為を順守した適切な監査を実施する。	顧問の公認会計士との間で作成した年間監査予定表に基づき、会計指導・監査を受けている。		監査実施予定表 監査報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
監査については、年間スケジュールを定め、顧問の公認会計士により、月に一度実施しており、適正な体制を整えていると考えている。	会計士に加え、別途税理士と顧問契約を結んでおり、担当者が経理業務の基本について指導を受けている。

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

8-31 財務情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	法令・ガイドラインに従い、財務情報を公開する。	ホームページにて公開している。		学園ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校法人のホームページにて財務情報の公開している。	

最終更新日付	令和 7 年 7 月 1 日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------------	-------	-------

基準 9 法令等の遵守

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
東京都の認可を受けた専修学校、厚生労働省の認可を受けた美容師養成施設として、関係法令・設置基準等の遵守し、学校運営を行っている。 個人情報の保護について学園として規程を定めており、情報の取扱には、施錠可能なキャビネットでの保管や、業務を行う場所を当該業務責任者および担当者以外の立ち入りを禁止している部屋に限定する等、細心の注意を払っている。 自己評価・学校関係者評価については、学校運営に積極的に活用していきたい。 教育内容・活動をはじめとする「当校のありのままを伝える」ことに関する情報公開については、財務情報や学校関係者評価を含め、主としてウェブサイトを通じ、積極的に行っている。	教職員全体で 20 名に満たない小所帯であり、教職員間の意思疎通が容易なことは当校の強みであるが、口頭でのコミュニケーションが容易であるだけに、逆に規程類の整備や学校評価等の「文書」による情報共有化をより一層進展させる必要がある。 情報発信については、一部に改善の余地があるものの、広報部主導のもと教職員一丸となって取り組んでおり、授業風景を紹介するブログ・SNS の発信に教員も積極的に携わっている。

最終更新日付	令和 7 年 7 月 1 日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------------	-------	-------

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	各種法令を遵守し、適正な学校運営を行う。	専修学校設置基準、美容師法施行規則、美容師養成施設指導要領等各種、法令・基準・要領に従って学校運営を行っている。	法令順守に関する規程・新任教職員への啓蒙活動体制が整っておらず、今後の検討課題。	専修学校設置基準 美容師法施行規則 美容師養成施設指導要領

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
東京都の認可を受けた専修学校として、および厚生労働省の認可を受けた美容師養成施設として、関係法令・設置基準等の遵守し、学校運営を行っているが、法令遵守に関する規程、啓蒙活動体制が整っておらず、今後、整備が必要である。	

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

9-33 個人情報保護

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	個人情報保護については、万全の対応をとるべく、規程を定め運用する。	学園として個人情報保護規程を制定している。 個人情報に関する書類の施錠可能な書架、部屋で保管。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報の保護については、学園として規程を定めている。マイナンバー等個人情報関連の書類については、関係者以外立ち入りを禁止した施錠可能な部屋・キャビネットで書類を保管する等、細心の注意を払っている。	教職員の個人情報については法人本部で一元管理している。

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

9-34 学校評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	自己評価の実施体制を整備し、毎年度評価を行う。	一部の教職員のみで実施。	規程がなく、自己評価の位置付けが不明確であったため、学則で規定し、教職員で共有する。	学則
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	自己評価結果をウェブサイトで公表する。	ウェブサイトで公開。		学則
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行う。	平成 26 年度より実施。		学則
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	学校関係者評価結果をウェブサイトで公表する。	ウェブサイトで公開。		学則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自己評価、学校関係者評価については、積極的に取組んできたとは言い難いが、今後は積極的に推進し、学校運営に反映させていく。	

最終更新日付	令和 7 年 7 月 1 日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------------	-------	-------

9-35 教育情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に従い積極的に公開する。	ウェブサイトで公開する		専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学後のミスマッチを避けるべく、教育内容・活動を積極的にウェブサイトにて公開している。志願者の関心事である学生納付金、就学支援に関しても同様にウェブサイトにて公開している。	ウェブサイトの運営は教職員一丸となって対応し、SNS やブログ「先生日誌」による授業風景の紹介等、積極的に取組んでいる。

最終更新日付	令和 7 年 7 月 1 日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------------	-------	-------

基準 10 社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
福祉知識を美容に生かす授業を実施している特性を活かしたテーマで広く教育機関・福祉施設・地域との交流を図っている。 例年、夏祭りや高齢者無向けイベントなどの地域の行事にも積極的に参加している。 学校から社会へと巣立っていく学生にとって、学生時代に様々な社会活動に触れ、又は地域イベントに参加することが、真の社会貢献を理解することだと考えている。そして、その精神は実生活においても役立つことと思う。	福祉知識を美容に生かす実習及び講義の開講 夏祭りに、ネイルやボディペイントを行い、多くの小学生や中学生に施術を行った。 シルバー人材センター様よりお声がけをいただき、ネイルの施術などのボランティアを行った。

最終更新日付	令和 7 年 7 月 1 日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------------	-------	-------

10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	福祉知識を美容に生かす授業を実施している特性を活かしたテーマで広く教育機関・福祉施設・地域との交流を図っている。	夏祭りなどの地域の行事にも積極的に参加している。		
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	グローバルな人材が必要とされている現代、国際交流は必要不可欠と考えている。海外研修旅行だけではなく本物の海外研修が可能なシステムを構築したい。	海外研修旅行の実施(2024年度は韓国)。外国語授業を取入れ、サロンマナーの講義を実施している。		

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------

10-37 ボランティア活動

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	美容師の仕事において、お客様のためにというボランティア精神に通ずる気持が必要である。今後も美容の特性を活かした活動を広げたい。	例年、福祉施設に入所している方をお招きしてのハンドマッサージやネイルの施術を実施していたが、新型コロナウイルスの影響により、今年度は中止となった。 夏祭りや高齢者向けイベントに参加。	学生の自発的な取り組みを促していくかが課題。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
ボランティアを体験することに学生自身の喜びや自信にもつながり、教育効果も大きいと考える。今後も積極的にその場を広げていきたい。	社会福祉（学科） 介護職員初任者研修修了資格（資格取得可能）

最終更新日付	令和7年7月1日	記載責任者	中溝 京子
--------	----------	-------	-------